

The Gallery

2004(平成16)年4月18日(日) 発行・相模原市議会をよくする会

3月定例会版

議会運営委員会で2改善 本会の提言に応え6月議会から

本会は本紙第19号(1月発行)で議会運営委員会の問題を指摘、その解決のための3つの対策を示した。それは同委員会の「審議資料の貸与」「議事録の改善」、そして「録音の許可」というものであった。これに対し、同委員会は3月定例会最終日の同委員会々議(3月25日)で、6月定例会からは傍聴者に審議資料の貸与と同委員会の議事録を他の常任委員会と同様、作成することに決めた。録音の許可については議題にしなかった。

改善① 審議資料の貸与

相模原市議会における審議資料の貸与は2002(平成14)年の6月定例会から本会議と5常任委員会で、本会の要求を受入れ実施されてきたが議会運営委員会だけは除かれていた。今回これが実施されることになったのは、昨年12月定例会の議会日程に関する同委員会でのある発言が問題になった際、傍聴者の手元には審議資料が

配布されていなかったため、傍聴者と議会側がもめたことに起因している。

この審議資料の貸与は、神奈川県議会や横浜市議会をはじめ県下9市と18全町村がなく、本市の他、横須賀、藤沢、茅ヶ崎、厚木、小田原、秦野、伊勢原、三浦各市が実施している。運営委を含めた全委員会での実施はまだ少数派である。

改善② 議事録の徹底

政治の世界で「言った、言わない」の争いは珍しいことではないが、キチンとした議事録の存在が解決を容易にすることは言うまでもないこと。相模原市議会の議会運営委員会の議事は速記もなく、録音もないのだという。満場一致でものごとを決めるのがこれまでの慣習というが、議会が活性化して、議論が戦わされるようになれば、

当然ながら委員の発言内容の記録は正確に保存されていなければならない。

議員の発言記録と言えば、『さがみはら市議会だより』に発言議員の氏名が記載されないことを不満に思う市民は多く、本会でも5年前から要求し続けている。いまだに実現しないのは、多人数の大会派が露出度で小会派に比べ不利という事らしい。■

傍聴報告・3月定例会

■本会議 (感想と意見) (2月24日, 3月3, 4, 23, 24, 25日の6日間)

1. 市長の「施政方針演説」で一悶着があった。議員も傍聴者も事前に手渡されていた演説文の最後の肝心な部分を市長が読み忘れ、全員が「アレッ」と思った。休憩に入ってから議員の代表者が市長に苦情を伝えたところ、原稿が付いてなかったと弁解。助役が各会派の控室へ詫びに回ったが、なぜ本人が来ないと批判する議員がいたらしい。‘朗読会’なんか止めればいいのに。
 2. 財務部長らの一般会計予算書の‘拾い読み朗読’もナンセンス。市長演説と共に議会の改革のターゲットにすべきだ。
- 【賑やかだった賛否討論から】
3. 津久井郡3町との合併に人一倍熱心な山岸議員は「豊かな自然と都市部相模原の合併」を素朴に訴え。具体的メリット・デメリットをどこまで考えているのか聞いてみたい。津久井高校中退という。
 4. 久保田義と折笠両議員の声高な私語に他議員も注視。両者とも議長経験者だ!
 5. 議長発言の不思議。誰も‘討論’などしなかったのに「これで討論を終結します」はおかしい。形式を重んずる議会です。日本語を正しく使ってほしい。
 6. 久保田義議員は、議長が「～はありませんか」というと、一際声高に「～オー」と叫ぶ。何を言っているのか仲間に聞いたら「進行」と叫んでいるとか。それを受けて議長が「～を終結します」と言うわけか。大事な役目なのだ。
 7. 菅原議員の賛成討論は、あれが欲しいこれが欲しいづくめ。ものを要求する場と心得ているようだ。
 8. 田中議員は任意合併協議会に反対して「市長は議会さえもそっちのけ」と。市長は苦笑して首をひねっていた。予算に反対というよりは、共産党として言いたいことを言っていた。
 9. 友成議員、社民党の意見表明を長々と読み上げたが、三位一体問題から人事異動への注文まで広げすぎてぼけた焦点。
 10. 西村議員、弱者切り捨てで財源確保に反対など共鳴できる内容もあったが、書いたものを読むのではなく、皆のほうを向いて、身から出る言葉で話すべきだ。
 11. 長友義議員の反対討論は、大野台の市営住宅の見直し、市長退職金2700万円の辞退、麻溝台陸上競技場の見直し、と具体的な要求を突きつけた、見本のような予算反対討論を行った。
 12. 賛成した長友克議員、ハキハキした話ぶりの割にダラダラ長く、漠然として中身がまるで伝わって来なかった。先立って行った委員会報告の質疑で、市体育協会の施設使用料免除問題で、極めて説得力のある訴えをした本人とは思えなかった。
 13. 岩本議員、声が優しく聞きやすいが、自信の無さが伝わってくる。
 14. 障害者施設・ロシナンテの健全経営を求める陳情の委員長報告(田中委員長)は、なにやら施設賛美に聞こえた。委員会では陳情者の発言も拒否されたこともあり、陳情者の方がおかしいという印象だけが残った。
 15. 市施設の使用料減免の条例規則の改定を求める陳情で、長友克議員が反対討論と言いながら、この陳情を突破口に体育協会の様々な問題(施設を無料で使用しながら物品販売、参加費徴収など)を説明せよと主張。平成18年からは指定管理者になるとの話。取り組みには応援したい。
 16. 一般質問で女性、病人、障害者、子供といった弱者全般の立場から行政側の及び腰を批判した加藤議員の勇気は称賛。
 17. 東條議員は話し方に落ち着きが加わり改善。タブー視される市と自治会の関係問題を取り上げたのはよかった。若い世代の自治会のイメージは悪いのだから。
 18. 弁舌さわやかな松永議員。しどろもどろの2問目が惜しい。葬儀場反対を主張するには、理論立てをハッキリさせて。
 19. 須田議員も自治会問題を取り上げた。

加入率 65%はなぜか。対策を考え出すのが議員の役目。市側の組織ではないのだから、市側に言うのは的外れでは。

20. 藤井議員の質問は多すぎた。聞くほうに負担が掛かる(折笠議員が特に辛そうだった)最後部に出した市町合併問題の追求だけでもよかった。山口企画部長の答弁は早口で非常に辛そうだった。
21. 岩本議員、二問目質問はきめ細かく鋭さも。行政側の答弁に動揺が見られた。
22. 米山議員、「川の駅」ほか観光振興策を披露。興味を抱いた議場だが「夢だけじゃなー」との市政クラブ議員の声も。

23. 大沢議員、自己陶醉型の朗読。情緒的で、質問なのか疑問。3問目の要望も演説調の棒読み!その間私語の議員多数。問題のテーマ、追求の仕方など改善しなければ、今後議員の資質が問われる。
24. 友成議員、東京事務所について、年間2600万円の費用対効果に疑問を呈したがキッパリした語り口、分かりやすさ。他の議員も見倣ってもよい。
25. 議長が一人の質問者が終り、着席すると、いきなり「○番、××議員」。せめて「△△議員の一般質問は終わり」ぐらい言ったらどうか。ケジメとして。 ■

■委員会 (感想と意見)

■総務委員会 (3月8日)

- 金子委員、補助金見直しについて質問しながら、途中で「ここはこれで納めておく」と何やら思わせぶり。いつもながらの尻切れトンボで、追求が甘い。
- 山岸委員が市町合併問題で市の新都市ビジョンを問うたが「今考えている」との答え。協議会の予算9千万円の用途は、公聴広報費4千万、コンサル2千万、事務費2千万、他1千万の答え引き出す。協議会は原則公開ですすめる事も判明。
- 長友克委員の50周年記念行事にからむ質疑の冗長な話で、岸浪委員長が「質問をしてください」と注意。いい采配。
- 談合情報の処理の怠りを質す陳情で、市側当事者の話だけを聞き継続審査としたが公平な委員会審査と言えるだろうか。長友克委員、藤井委員が願意をとらえていたのではないか。
- 「さがみはら男女共同参画条例」に対する長友克委員の、主旨は賛成だが条例作りは反対の態度は分かり難い考え方だ。
- 市職員定数条例の審議中、正規・非正規職員の差別を言う市に疑問を抱いた。公務員から率先改革をしていくべきだ。
- 市税条例では米軍への思いやり予算を提案。本来国のやるべきことではないか。

■民生委員会 (3月9日)

- 議事の能率を考えたら、議案2,4,6,7号などの特別会計予算等の補足説明は全く時間の無駄。補足というより、計画書の棒読み。黙って拝聴する委員の心境は?
- 西村委員の質問は自説を交えて相当に長い。そうしたことから、時間制限を画策する議会運営上の動きが出てくるのではないか。質問は端的に鋭く短かくをモットーにしたらどうか。
- 障害者施設・ロシナンテ問題の陳情で、西村委員が傍聴席の陳情者の発言を提案したが、全員反対で実現しなかった。陳情者の発言を求める自治体が増えている折、本市議会も勇気をだして欲しい。
- 稲垣副委員長が、「何もしないとされるから」と断りながら児童に関する施設等を質問した。発言よりも、委員会運営(例えばマイク使用の注意とか)の委員長サポートに尽力したらどうか。仕事は有りますよ。
- 民生というテーマからか、委員からの要望のオンパレード。何をいつまでにせよとの厳しい注文はなく、市側もただ聞いて置けば済むと思っているのだろう。

■環境経済委員会 (3月10日)

- 委員会の質疑って一体何だろう。ほとん

どが委員と職員の雑談会のようなもの。例えば、市民が市の職員にたまたま街のコーヒー店で会ったので、日頃の疑問をぶつけてるようなものだ。

- 大沢委員のボイステ禁止啓蒙を促す発言も悪いとは言わないが、自治会の会合並の質問では議会の存在が問われる。職員側は「素人のあんたに言われたくない」という思いで聞いているのではないか。
- 山田委員は、市の桜祭りを1週間早めたことを殊更に評価、検討の経緯をあえて聞いていたが、そんなに偉いことか！
- 小俣委員が中小企業対策で発言していたが、たどたどしい読み方を見ていると、自分で用意したものなの？と聞いてみたくなった。
- 陳情第10号（市施設の使用料減免規定の改定）については、各委員が考えを述べ主旨に賛成しながら、結局採択に賛成したのは東條委員だけ。岩上委員は継続審査を主張した。
- この陳情では、市の行政改革推進課長の16年度中に使用料の減免率を全面的に見直すという説明に委員がなびいたとしか言えない。課長の説明では18年度からその見直し案を施行する由。あと2年は現状のままということ。大沢委員は、岩上委員が言った「5万人の体育協会は一部とはいえない」に賛意を示した。
- 川上委員は減免があることが問題だから陳情の50%は引っ掛かると、思わぬ賛成的反対。取り敢えず賛成すればよい！

■建設委員会（3月11日）

- 細谷政、米山両委員からバス乗り継ぎ苦情対策を質したのに対し、市はICカード導入の考えを示した。
- JR相模線の複線化は、採算上2千人以上の乗客増が必要との見直し回答。
- 川田委員の大野台住宅の質問で、家賃の滞納が5千万円以上あるとの報告。
- 長友義委員は小川市長は前市長の10倍以上の市営住宅を造ったが、本市の特徴を持った建築方針を明確にするよう要求

した。関連質問から、街路樹の手入れにリフト車を使うと7万円/本、使わない場合でも4万円かかるというびっくりする報告があった。同委員はいつも歯切れのよい分かりやすい質問だが、もっと大きな問題を扱うよう期待したい。

- 折笠委員が小田急相模原北口開発を取り上げたが、もっと簡明に話して欲しかったし、菅原委員は市営住宅の申し込み手続きの簡素化を語ったが、質問かお願いか分からなかった。発言は長友義委員を見做ってメリハリつけて貰いたい。

■文教委員会（3月12日）

- 須田委員、公民館での趣味の利用者の受益者負担を進めるときと発言。個人の利益にとどまらない公民館活動への助言こそ職員の役割であるとすれば、方向が逆ではないか。
- 山下委員が校舎改修は築順だけでなく、状況にしたがって誠意のある対応をとって、くぬぎ台小ほかの騒音対策などを迫っていた。当然ではないか。
- 関山委員の防犯ブザーの質問に関して、新年度から全小中学生に配布、原則貸与ながら卒業後も返却しないで活用をと市の回答。それでも貸与？総数56500個（1個300円也）。
- 教育基本法「改正」見送りの陳情に、3委員が採択を、2委員が継続を表明。結果は「継続」、多数派の数の論理が通りこれでなんと継続は4回目に及んだ！

★委員会傍聴受付が移動★

2月18日の議会運営委員会から、傍聴者の受付が2階の委員会室の入口付近に設置され、第2別館3階の本会議場受付まで行く必要がなくなった。しかし薄暗い廊下の一角に座り続け、係員は長時間他の事務もせず、効率の悪い人員配置と言うほかない。なぜ、議会事務局の受付カウンターで傍聴者を迎えられないのか。他市では常識的にそうしている。議員が反対してるとの話は本当か！

■議会運営委員会（2月18日、3月25日）

1 人助役になったので 常任委員会への 市長出席で議論

★ 木下辰雄助役の突然の辞職で、議会は山口秀夫助役一人が3月議会に対応するいわゆる「一人助役」の事態におちいった。このため、5つの委員会はすべて山口助役が出席する事になった。

ところが、もしある委員会が一日で終わらず、2日間に跨がった場合は、山口助役が2つの委員会に同時に出れないので、他の委員会開催が予定されていない後日に2日目の委員会を開かなければならない。しかし審議を大幅な日数を開けて行うのはまずいとの考えが出てきた。

各委員の考えは

○委員会は先延ばしでなく、あくまでも翌日開催にすべきだ。（佐藤委員）

- 助役は初日に出席さえしてれば、二日目は出なくてもよい。（大上委員）
- 時間延長してもその日の内に終わらせたほうがよい。（松永委員）
- 重要事項なので会派に持ちかえって相談したい。市長の出席を考えてはどうか。でなければ、延びても助役は出すべき。（長友克委員）
- 1日で終わらなければ市長に出てもらふ提案もあるが、各委員会で決めてもらったらどうか。記録に残ることだから。（折笠委員長）
- 本当に残るのか。（佐藤委員）
- 市長の出席は、市側の都合で1人助役としたのだから責任上当然だ。賛成する。（松永委員）
- 何より一日で終わる努力が大切で、そう努めたい。（佐藤委員）
- 市長は公務でお忙しいから、いきなり言っても困るのではないか。（大上委員）

**結論：市長出席は
各委員会で判断を**
（実際は市長出席の機会は無かった）

またも・・・大上委員が不勉強発言！

2月18日の議会運営委員会で、市長の委員会出席要請の審議中の大上発言、「市長は公務でお忙しいから」（委員会出席要求はしないほうがよい、との意に取れる）は傍聴者を本当に驚かせた。議会は市長が招集し、自身の提出した議案審議を議会に要請した。定例会期間中、市議会出席以上に重要な市長の公務はどこにあるのか。大上委員は議会の仕組みや市長部局と議会の関係を、一から勉強して再出馬すべきだ。それとも、市長を出席させたら申し訳ないので出席阻止を計ったのか。市長に媚びる議員は要らない！ ■

トピック

TOPIC

委任専決事項の審議で 「ザ・ギャラリー」の意見が引き合いに

The Gallery 第19号に掲載された総務委員会・傍聴者の感想文「町田との境界議案など審議必要か。形式的な建前議案の扱いは時間の無駄か」が、本会議の佐藤賢司議員の発言のなか引用された。要は、市民もある程度の委任専決事項の追加は議会の効率化上認めている、と言いたかったらしい。専決してもよい事項の判断は誰がするのかとの議論があったが、結果は数項目の追加が決議された。 ■

相模原市議会 3 月定例会審議結果一覧表

2004 (平成16)年

【審議結果】

(NO1)

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数											
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 福 (長)	無 福 (西)	無 福 (東)			
議案第1号	平成16年度相模原市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	平成16年度相模原市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成16年度相模原市下水道事業特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成16年度相模原市老人保健医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成16年度相模原市自動車駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成16年度相模原市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	平成16年度相模原市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	さがみはら男女共同参画推進条例について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	相模原市行政手続条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	相模原市個人情報保護条例及び 相模原市情報公開条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	相模原市職員定数条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	相模原市外部監査契約に基づく監査に関する 条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	相模原市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	相模原市市税条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	相模原市手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	相模原市医療費助成条例の一部を改正する条例について ・1級又は2級の障害者を重度障害者医療費助成事業の対象とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	食品衛生法の施行に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	相模原市立ふれあい広場条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	相模原市営峰山霊園条例の一部を改正する条例について ・「柴胡ヶ原墓地」を「柴胡が原霊園」に変更、「峰山霊園」と条例を統合 ・墓所種別及び使用期間設定並びに霊園の墓所使用料及び管理料改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	相模原市営自転車駐車場条例の一部を改正する条例について ・原動機付自転車の範囲を総排気量125cc以下とする規定追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	相模原市営自動車駐車場条例の一部を改正する条例について ・二輪自動車(総排気量125cc以上)の駐車-----1日1回500円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	相模原市火災予防条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第23号	包括外部監査契約 契約金額-----16,500,000円を上限とする額 の締結について 相手方-----岸 勤(公認会計士)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第24号	不動産の取得について(小山小学校校舎の取得) 取得価格-----2,645,773,417円 相手方-----財団法人相模原市都市整備公社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	指定管理者の指定について 施設 相模原市立男女共同参画推進センター 管理者 特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら 代表理事 石川 貴々子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	指定管理者の指定について 施設 相模原市立勤労者総合福祉センター 管理者 財団法人相模原市中小企業勤労者福祉サービスセンター 理事長 小泉 隆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号	市道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決, 同意 ●=否決, 異議

相模原市議会 3 月定例会審議結果一覧表

2004(平成16)年

【審議結果】

(NO2)

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数								
			市ク (22)	公明 (8)	共産 (5)	民ク (4)	社民 (2)	神ネ (2)	無福 (長)	無福 (西)	無福 (東)
第28号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第29号	平成15年度相模原市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	●	○	○	○	○	●	
第30号	平成15年度相模原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第31号	平成15年度相模原市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第32号	平成15年度相模原市老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第33号	平成15年度相模原市自動車駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第34号	平成15年度相模原市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第35号	固定資産評価審査委員会の委員選任について(原 清助氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第36号	助役の選任について(加山 俊夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
第37号	固定資産評価員の選任について(山口 秀夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議提案第1号	イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書	●	●	●	○	○	○	○	●	○	
第2号	特別委員会の設置について(合併問題特別委員会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第3号	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第4号	独立行政法人都市再生機構法に対する国会附帯決議の全面実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第5号	委任専決事項の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○=可決, 同意 ●=否決, 異議

【請願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数								
			市ク (22)	公明 (8)	共産 (5)	民ク (4)	社民 (2)	神ネ (2)	無福 (長)	無福 (西)	無福 (東)
陳情第23号	教育基本法改正の見送りについて(2003年6月定例会提出)	△									
第1号	緊急地域雇用創出特別交付金の継続等について	×	×	×	○	×	×	×	×	○	
第2号	自衛隊イラク派遣の差し止めについて	×	×	×	○	○	○	○	×	○	
第3号	神奈川県最低賃金改定等について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第4号	独立行政法人都市再生機構法に対する国会附帯決議の全面実現について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第5号	男女共同参画推進条例について慎重な審議を求めることについて	×	×	×	○	×	×	○	×	×	
第6号	青少年健全育成基本法制定を求めることについて	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
第7号	良識ある男女共同参画推進条例の制定を求めることについて	×	×	×	○	×	×	○	×	×	
第8号	被保護者等慰問金支給事業の継続について	×	×	×	○	×	×	×	○	○	
第9号	相模原市談合情報マニュアルの不備な規定を是正することについて	△									
第10号	相模原市都市公園条例施行規則の使用料減免率是正について	×	×	×	退	×	×	×	○	○	
第11号	社会福祉法人一乗会ロシナンテの健全なる運営について	×	×	×	退	×	○	×	○	○	
第12号	相模原市立橋本公民館の施設管理・運営について	×	×	×	退	×	退	×	○	×	
第13号	幼保一元化と保育所運営費一般財源化に関する意見書提出について	×	×	×	○	×	○	×	○	○	
第14号	自衛隊のイラク派兵に反対する意見書の採択を求めることについて	×	×	×	○	○	○	×	○	○	
第15号	35人以下学級実施のために、教員を加配する財源措置を求める意見書の提出について	×	×	×	○	×	○	×	○	○	
第16号	私立幼稚園児の就園奨励金・保育料軽減措置の増額について	×	×	×	○	○	×	×	○	○	
第17号	教育基本法の理念を生かすことを求める意見書の採択について	△									

○=採択 ×=不採択 △=継続審議 退=退席

相模原市議会 3 月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO1)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
金子 豊貴男 (社会民主党) 	①福祉の課題 高齢者福祉の充実、 独居老人・高齢者世帯への施策の 充実 ②環境問題 相模原の自然環境、ど う守るか、生物多様性の観点を ③基地問題 キャンプ座間への第一 軍団の移駐問題とPCB保管の最 終解決 ・2月からの搬出、どう認識するか 今後の基地の環境問題への視点	西村 綾子 (無所属) 	①戦争と基地の問題について ・自衛隊のイラク派兵について ・米軍基地の強化と爆音被害について ②教育問題 ・教育基本法とその改悪案について ・「障害児」等の教育実践について ③市町村合併について ・国の方針との関係について ・合併特例債について
溝 淵 誠之 (市政クラブ) 	①合併の基本 ・合併の秘訣は相手を尊敬すること ②市制50周年記念事業 ・記念事業の基本理念について ③食育について ・保育所、小中学校における食育 について	松永 千賀子 (日本共産党) 	①南橋本地区の民間葬儀場問題について ・葬儀場開業計画の白紙撤回を求 める住民運動の経過と見解は ②橋本都市再生緊急整備地域につ いて ・大規模工場跡地の売却状況は ③少人数学級にむけて ・小学1年生の35人学級実施見 込みは ④中学校完全給食について
加 藤 明 徳 (公明党) 	①医療等の充実について ・女性専門外来の設置について ②障害者施策の充実について ・日常生活用具等の展示、給付の 充実について ③教育の充実について ・部活動の充実について ④遊具問題について ・公園、子どもの広場、学校、保 育園等の現状と対策について	須 田 毅 (市政クラブ) 	①自治会活動の活性化について ・防犯等補助金の増額について ②交通行政について ・コミュニティバス運行について ③みどり対策について ・「木もれびの森」の保全と土地 公共化について ④高齢者施策について ・介護保険制度見直しの動向
久保田 隼夫 (市政クラブ) 	①スポーツ振興計画について ・総合型地域スポーツクラブ事業 について ・学校教育における部活動につ いて ②観光振興について ・全国風揚げ大会について ・相模の大風センターについて ③相模川周辺の整備について ・「れんげの里あらいそ」を中心 とした周辺整備について	藤 井 克 彦 (日本共産党) 	①開発、建築と環境保全について ②マンション居住者への行政支援に ついて ③みちづくりについて ④相模大野駅西側地区のまちづく りについて ⑤厚木基地米軍機飛行騒音の解消と 対策について ⑥市町村合併について ⑦医療費の市民負担軽減について
東 條 恵 美 子 (無所属) 	①自治会について ・自治会の補助金と職員の事務局 支援について ②障害者福祉について ・障害者の雇用と就労支援につ いて	岩 本 香 苗 (神奈川ネット ワーク運動) 	①相模原市に於ける外国籍市民の現状 ・国際交流ラウンジ事業 ・行政、市民（NPO、ボランティ ア）それぞれの支援のあり方 ②地域の子育て機能 ・管理運営（運営主体、指導員体 制など） ・地域での連携

相模原市議会 3月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO2)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
米山定克 (公明党) 	①市民生活 ・動物愛護の取り組みについて ・田名保育園移転整備について ②職員採用について ③観光行政 ・川の駅創設について ④教育行政 ・市民大学について ・学校運営について	小林一郎 (公明党) 	①安心、安全対策 ・学校安全監視員について ・子どもの居場所づくりについて ②防災対策 ③都市景観 ・都市景観条例について ・緑化対策について ④健康づくり ・市民健康づくりの遊歩道について
大沢洋子 (民主クラブ) 	①学校教育における子どもの読書活動の推進について ・子どもの読書活動の推進に関する法律に基づいての本市の取組について ・学校図書館の充実及び図書整備について ・司書教諭の現状と今後の充実	友成洋一 (社会民主党) 	①東京事務所の効果的な活用に向け ②地域みらい研究会議の構成と検討内容 ③新行革「さがみの風」の中から ・小中学校の施設管理方法の検討 ・市営自動車駐車場の利用促進 ・出張所機能の検討 ・時差出勤制度適用職場の拡大 ・公共施設への有料広告の掲示
長友克洋 (民主クラブ) 	①少子化対策に関連して ・市の乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃を求めて ・市の就園奨励補助金増額を求め ②中小企業及び雇用対策に関連して ・市による無料職業紹介制度の確立の提案 ・市による就業体験研修制度の確立の提案	※詳しい内容は『市議会だより』や『議事録』を参照して下さい。	

【ミニ学習会・生涯学習まちが講座・テーマ「議会事務局・議事調査課の仕事」2月15日】

■報告■

課は47人目の議員となって

講座は市民活動サポートセンターの会議室で、講師に議会事務局の近藤議事調査課長と大関同担当課長を迎え、会員10名が参加して開催された。課は総勢21名で、議事班と調査班に分れる。説明された議事班の仕事には、定例会、臨時会の運営補助、会議資料作成、請願・陳情受付のほか、「会議録作成」(2カ月で完成させる)「市議会だよりの作成」(議会の翌月末発行、22万部印刷)多岐にわたる。私たちの関心である「議会だより」は読了率が7%にすぎないが、このことについて原因が議会への無関心なのか編集内容なのかの説明は聞けなかった。なお、議員による編集委員会はなく、事務局が編集している。

本会では、会議録の発行迅速化、委員会のVTR作成、陳情者の陳述実現、委員会への出席職員の制限、議会だよりの改善等を要望した。両課長は議長への伝達を約束した。(富士見・中山貞望)



(右から近藤、大関両課長)

●他団体の活動から● さがみら市民オブザマン/ 相模原市民オブザマン情報公開度調査
シリーズ② (2003年8月～10月分)

市長交際費を公開

★地名は祭り、団体名などは行事・大会等。81件の支出は全て慶弔に係わるものであった。弔電・生花類の送り先は、原本では明示されているが、ここでは公表を控えた。

< 第1部 >

○祝い金(5000円均一) → 三菱電機労組、相模台、立科、田名、東林間、若松、身障者スポーツ、相模野歌集、橋本、三菱キタビル、白樺高原、相原二本松、上溝、*事務用品組合、中央、横山、上鶴間、大野南、相武台団地、みち、相武台、光ヶ丘、*相模原地区病院協大野北、新磯、星が丘、市建設関連団体、小山、こぶち、*相模原納涼花火、大沢、相模原能、施設ロイヤル、市精神障害者家族会、エクスション、東林、*市民健康センター、*反核平和の火、青山学院大学、相模大野、大沼、相模みち、相模原北ローレル、城山、並木、光明学院 *県北管工組合、大野中、*さがみら産業創造、東海大相模(*印は10000円)。

■弔電(1000円位) → E家、T家、t家、O家、N家、N家、S家、M家、W家。

■香料・花輪・生花(5000～10000円) → O家、S家、T2家、O家、添田前茅ヶ崎市長 K家、H家、M家、K家、M家、O家、T家、K家、戦没者合同慰霊祭、K家、O家、県内医師会、M家。

< 第2部 > 県下19市の公開度比較一覧 (公開請求日は03年11月18日)

自治体	非公開箇所	支出相手先個人名の扱い	弔意数	見舞数	祝意数	合計
横浜市長	なし	公開	3	0	1	4
川崎市長	なし	公開	0	1	1	2
横須賀市長	住所のうち地番部分。見舞いでは 新聞報道されない時の氏名・肩書		3	2	0	5
平塚市長	なし	公開	6	2	0	8
鎌倉市長	なし	公開	2	0	1	3
藤沢市長	なし	公開	8	0	5	13
小田原市長	なし	公開	13	3	10	26
茅ヶ崎市長	個人に関する情報で円滑な事務事業 を妨げる箇所。弔意・祝意に関し支出先の住所非公開。(公人を除く)		29	0	13	42
逗子市長		(交際費は一切廃止)				
相模原市長	なし	公開	22	0	59	81
三浦市長	なし	公開	5	0	8	13
秦野市長	なし	公開	19	0	31	50
厚木市長	見舞い情報	見舞い相手名・肩書	47	1	28	76
大和市長	なし	公開	33	0	33	66
伊勢原市長	なし	公開	9	0	45	54
海老名市長	なし	公開	15	0	8	23
座間市長	なし	公開	38	0	82	120
南足柄市長	見舞い情報	氏名非公開	10	1	26	37
綾瀬市長	なし	公開	21	0	59	80

全員協議会の公開は必要だ！

相模原市議会に存在する「全員協議会」は、議会事務局の公式な説明では、あくまでも非公式な任意の会合であるという。そのためか、市議会事務局が発行する『ようこそ市議会へ』にも、この存在については一切触れていない。それでよいのか。本会では2つのことから、全員協議会は市民に公開すべき時に来ていると判断、それを正式に提言したい。県下の流れは「公開」である。

理由① 県下他市実状から

市名	現状	市名	現状
厚木	●非公開	茅ヶ崎	△要求時検討
綾瀬	●非公開	秦野	●非公開
伊勢原	●非公開	平塚	○公開
海老名	●非公開	藤沢	○公開
小田原	○公開	三浦	○公開
鎌倉	○公開	南足柄	●非公開
川崎	○公開	大和	△公開要求あり
▶相模原	●非公開	横須賀	○公開
座間	△検討中	横浜	○モニター傍聴
逗子	○公開	(50音順)	

〔注〕

1. 本年1月に「フォーラムちがさき」が県下19市を調査したものに基き今回本会が再確認した。
2. この他、「フォーラムちがさき」の調査項目には、TV放映、広報、事務局、議会図書室、土日夜間議会開催などがあります。希望者は事務局まで。

理由② 本市全員協議会の実態から

全員協議会は市長の要請で開催されるが、会議を司るのは市議会議長である。全員協議会だから全議員が出席の建前だが、最近4回の実績では欠席も毎回7から4人と意外に多い。市側からは市長、2助役、企画部長、秘書課長、企画政策課長、総務課長といった幹部が顔を揃える。

最近4回（平成15年8月、11月、12月、16年1月）の議会をみると、議題は市民にとって最も関心が高い「津久井4町との合併問題」であった。その協議会の度毎に、合併問題は紆余曲折を経て、本会議での「合併問題特別委員会」設置決議まで来た。

この、議会と市側の話し合いを公開し、市民が傍聴の形で市の意思決定の流れを知ることが大切であり、合併についての市民の選択にも貢献するものである。

- 平成15年8月8日＝同年5月に津久井郡町村会から「1市4町について合同で研究会を開催して欲しい」との申し出があってから当日までの経過説明。
- 、" 11月14日＝「合併調査研究部会」の5回開催の説明と、平成16年2月の「任意協議会」設立予定と平成15年12月補正予算600万円計上など説明。
- " 12月11日＝藤野町12月議会で不参加決定による7月22日文書（4町からのお願い）の撤回の報告。
- 平成16年1月30日＝今年2月めどの任意協議会の方針、16年度当初予算4500万円の計画を表明。（実際は4月1日、任意合併協議会設立合意書に調印）

会の発足から丸5年 本会総会近づく

市議会がなにかおかしい。子育てや教育問題、生涯学習などに係わって活動をしてきた3人の女性たちが、そのことに気付いたのはもう5年も前のこと。

「相模原市議会をよくする会」は、彼女たちの呼びかけに応じて大野北公民館に集まった市民が発足させた。今回節目の5周年を迎える定時総会が、発足の地で下記のように開催される。

— 記 —

日時：5月16日（日）午後1時30分

会場：大野北公民館

議事：事業報告／計画、決算／予算、役員人事等の総会事項の他、議会改革・市町合併・行政改革などをテーマに市制50周年を迎える市の現状を語る。

検証：5年間の実績：①議会運営委員会の公開 ②機関紙 The Galleryの20回発行 ③本会議・委員会傍聴資料の貸与 ④46議員通信簿作成 ⑤議運委の審議資料貸与 ⑥議運委の常任委員会並議事録作成 ⑦市民が開く議会報告会の開催など。 ■

恩人・西尾顕爾氏の 突然の他界を惜しむ

本会が発足した'99（平成11）年から、同氏が主宰した季刊・地域誌『アゴラ』の誌上で、本会の機関紙である The Galleryの紹介はじめ、私たちの主張や活動の場を絶えず与えてくださった西尾さんが2月27日、現役時代の活躍拠点だった相模原市役所内で倒れ、くも膜下出血のため翌朝急逝された。享年72才。会員一同の感謝の思いと無念は計り知れません。ご冥福を祈ります。
相模原市議会をなくする会 代表 赤倉昭男



編集後記

「よくも飽きずに傍聴を続けるナ」との声が聞こえる。だが、市民共有の財産である市議会を理想の形にするまでは止められない。その市議会を占拠する議員自身が、なぜ理想の姿を拒むのか。その事が全く理解できない。（赤）

議会へ行こう！— 6月定例会日程（会議の開会は毎日朝9時半から）—

5月17日（月）臨時会	6月15日（火）民生委員会	陳情締切り日 5月27日
5月28日（金）議会運営委員会	6月16日（水）建設委員会	
6月3日（木）本会議（議案説明）	6月17日（木）文教委員会	
6月9日（水）本会議（総括質疑）	6月28日（月）本会議（委員長報告）	
6月11日（金）総務委員会	6月29日（火）本会議（一般質問）	
6月14日（月）環境経済委員会	6月30日（水）本会議（一般質問・議運委）	

□入会申込書□

<入会金不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。（A、Bどちらか〇をつけてください。）

氏名 _____

A. 会員（傍聴など活動する）として

住所 _____

B. 賛助会員（購読し、支援する）

☎・FAX _____

●年会費（会員2000円、賛助会員1口1000円から）

★郵便振込口座番号：00280-6-48430 相模原市議会をなくする会

★申込み先＝相模原市議会をよくする会・事務局（代表／赤倉昭男）

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140

The Galleryのバックナンバー

[The Gallery 第20号](#)

議会運営委員会で2改善 本会の提言に応え6月議会から

The Gallery 第19号

大上委員の本紙への言掛りで 議会運営委員会の問題が露呈

The Gallery 第18号

議会運営委員会の新構成 大会派、メリット明言せず
一本会の公開質問に答えてー

The Gallery 第17号

緊急座談会 新7議員が率直発言 市政と議会を語る！

The Gallery 第16号

本会発行『通信簿』に大反響 市民の声：待っていた！

The Gallery 臨時特集号

あなたの選んだ46議員の『通信簿』いっきょ公開！

>